

大阪府立難波支援学校「進路・人権講演会」にお招きいただきました

副理事長 兼 事業統括 上宮 俊一

12月19日(火)に難波支援学校から「進路・人権講演会」にお招きいただきました。長谷川理事長と私の二人で登壇し、「学校卒業後の進路について」お話ししました。小学部から高等部までの保護者約30名がご参加くださり、2時間の間、熱心に耳を傾けていただきました。

前半は、高等部卒業後の具体的な進路について、通所事業所の種類や活動(作業)の様子、一日の流れなどを紹介し、保護者として今から準備しておいたほうがいいこと、(育成会のPRを少々織り交ぜながら)事業所選びのチェックポイントなどをご説明しました。

後半は質問をお受けしました。「就Aに通いながら年金受給はできるのか?」「生活介護は早く終わり、早く家に帰ってくるので、その後の過ごし方はどのようにすればよいのか?」「18~20歳までは年金はもらえない?」「年金はどのようにしたらもらえるようになるのか?」「グループホームを利用しながら就Aに通えるのか?」などがありました。限られた時間のなかで十分なご回答ができなかったかもしれませんが、卒業後の具体的な生活に関する不安が少しは解消されたかな?と若干の達成感に浸っています。

また、ご参加いただいた保護者の方へアンケートの協力もお願いし、学校や行政への要望をお聞きしたところ、「一人でも多くの子どもが就労できるような学校の取組みを行政が支援してほしい」「卒業後の進路先が区によって偏在しており、バランスを考えて認可してほしい」「事業所の紹介イベントなどを積極的に行ってほしい」などがありました。

貴重なご意見と受け止め、当法人としても行政機関への働きかけを行っていきたいと思います。今後も支援学校と関係を強化し、協働してイベントを実施していきます。

【難波支援学校の図書室にて】



学齢期向けの公開セミナーを開催しました

理事長 長谷川 美智代

12月7日(土)に学齢期向けの公開セミナーを開催しました。事前に、大阪市教育委員会事務局指導部インクルーシブ担当主催で3回開催された「保護者講座」に全て出席させていただき、講演が終わった後に時間を頂戴して、大阪市手をつなぐ育成会の活動内容についてお話をさせていただきました。その時、参加された保護者の皆様にセミナーのチラシも配らせていただきましたが、最初に申し込みがあったのが3名ほどだったので、他にもいろいろな所に案内チラシを配布しに行きましたが、最終的な申込人数は7名でした。当日は、欠席される方もあり、参加人数は5名になってしまいましたが、その中のお一人は「本当は、4人で参加するつもりだったのですが、他の3人が子どもの行事と重なってしまい申込できませんでした」と仰って下さいました。

セミナーは、大阪市教育委員会事務局指導部インクルーシブ担当の先生を講師にお迎えし、「就学・進学について」というテーマで、大阪市立小学校・中学校に就学・進学するまでの流れや、支援が必要な子どもの入学後の多様な学びの場をどのように考えていくかについてお話しいただきました。大阪市の小学校・中学校入学後の学びの場には、「通常学級」「通常学級+通級による指導」「特別支援学級」がありますが、講演終了後の質疑応答では、特に「通級による指導」についての質問が多くありました。「通級による指導」は、知的障がいがない、概ね学年相応の学習に参加できる児童生徒が対象となるので、通常学級の授業を抜けて指導を受けると、授業についていけなくなるのではと心配。授業を抜けずに受けるなら放課後になるが、先生が放課後でも対応してくれるのか。指導を受ける時間は個々で違うのか、また、どのように決まるのか。指導が必要でなくなったら、いつでもやめることができるのか等々、次々に出る質問にも、講師の先生が丁寧に答えて下さいました。そして、学校生活のどの場面で通級による指導を行うかについては、本人・保護者の意向を聞き、学校と相談しながら障がいの状況に合わせて決定するとのことでした。

参加人数は少なかったものの、ざっくりばらんな雰囲気でも質問ができたので、内容的には満足していただけたと思います。セミナーに参加して下さっても入会に繋がるかは限りませんが、地道な活動を続けることが大切だと思っています。